



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

TIAニュース

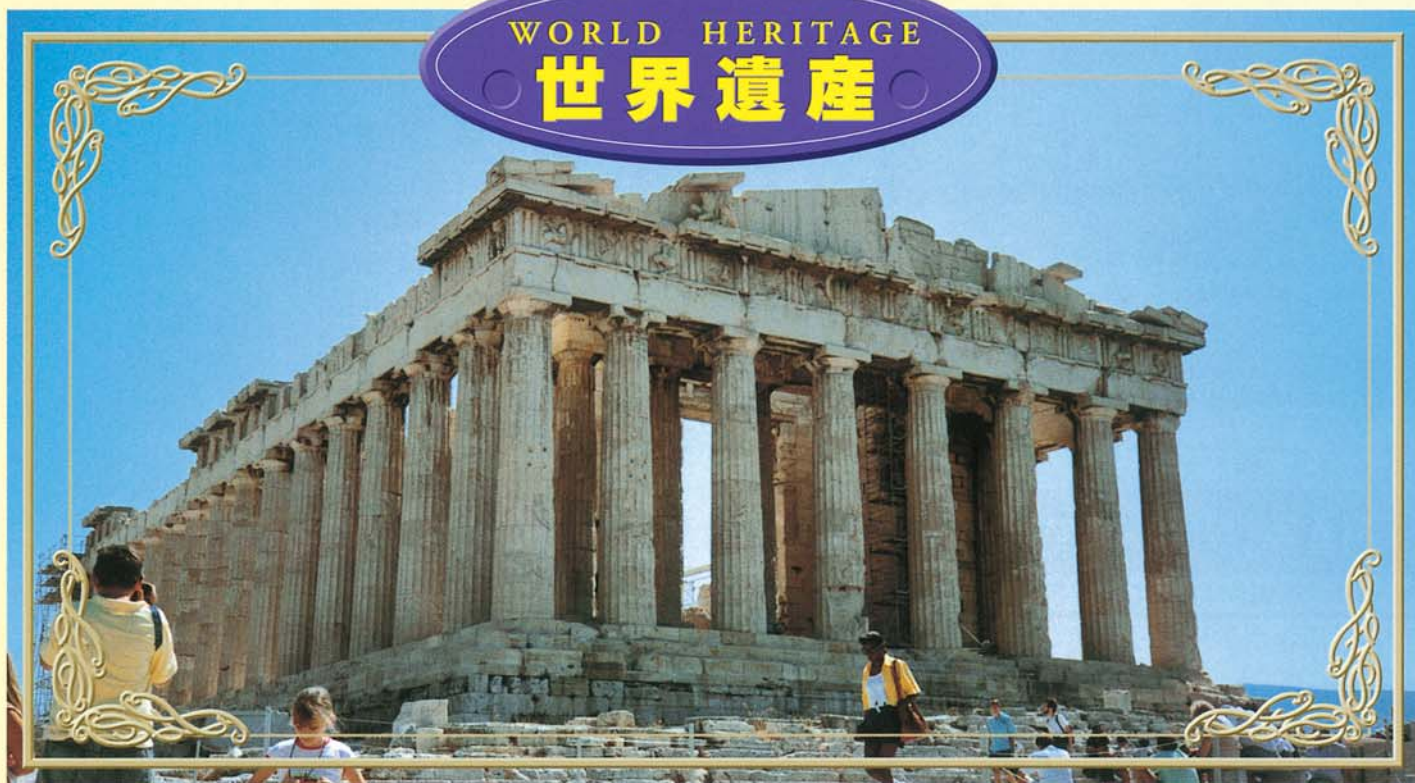
やあ!

2001
MAY
No.73

5

WORLD HERITAGE

世界遺産



▲ギリシアの首都アテネのアクロポリスの丘にそびえたつ人類文明の遺産といわれる美しいパルテノン神殿は、ゆるやかな曲線と曲面で作られており、建物のまわり約160mに46本の柱が立っている。1本の柱は10mの高さで下部の直径は約2mもあり、実際にこのパルテノン神殿が建てられた当時は、全体が彫刻像やレリーフ（浮き彫り）で飾られた一大芸術作品だったという。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 21

ドミニカ共和国

◆ J E T コーナー リサ・ウェバーさん（カナダ出身）

◆ ト ピ ッ ク ス とちぎ国際セミナー
ノルウェーと日本
～白夜とフィヨルドの国に赴任して～
栃木県高校生がフランスから帰国

◆ 国際交流団体紹介 日本語友の会

ようこそとちぎへ

● 平成13年度県費留学生

● 中国・浙江省から県国際交流員

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

JETコーナー

外国語指導助手
リサ・ウェバーさん
(カナダ出身)



こんにちは、JET プログラムのALT (語学指導助手) としては少々年齢は高く (28歳)、カナダ人としては小柄な (約155センチ: コンプレックスでもあります) 私が今月の『外国人』です。ALTとして2年半日本に滞在しています。8月からは足利市にあるFifth English Club (0284-72-3265) で働く予定です。

『外国人』として私はよくじろじろ見られます。スーパーでは、子供が (時には泣き出して逃げてしまい) 車の運転手は車を減速してまで “何故私が日本にいるのか” 考えているようにじろじろと見ていきま

す。もしかしたら、“醜い女性だな～”なんて思っているのかもしれませんが…。まあ、何でもいいですが。

外国人は日本の人々を魅了しているように感じます。私もよく日本にいる外国人を観察し、いつでも “何でこの人は日本にいるのだろう” と考えてしまいます。お金のためや、文化・語学勉強のためと理由も様々ですが、私が日本にいる理由は充実しているからです。いつしか “幸せ” を求めて生活していませんか!? 私は、日本の山、地震、宴会や電車の便利さが好きです。太鼓の演奏会や花見を楽しんでいます。見た目は外国人であっても、精神的には日本に合っていると思います。いつまでも自分の気持ちに素直でいたいと思います。皆さんも、自分自身に正直になることについて本を読みたいのであれば、パウロ・コエリョの『錬金術師』を私は推薦します。

人生を楽しみましょう!

Hi, I'm this month's foreigner! I'm in the JET Programme. I'm rather old for an ALT (28 years) and rather short for a Canadian woman (my insecurity). I've been here for 2 1/2 years and I'm staying. Next August, I'll be working for Fifth English Club (0284-72-3265) in Ashikaga City.

As a gaijin, I get a lot of staring. In supermarkets, children stop to stare (or they run away crying) and on the streets, cars slow down to look at me. I think that the children and the drivers want to know why I am in Japan. Then again, maybe these people are thinking "This woman is really ugly!" WHATEVER.

I've learned that foreigners are fascinating to people in Japan. I'm guilty of this fascination too. I stare at foreigners. Whenever I see on, I'll wonder "Why is that person here?" Some foreigners are here for the money, and others are here for the cultural or language learning experiences.

I'm staying in Japan because I feel happy here. After all, shouldn't life be about happiness?! I like mountains and earthquakes, enka and the train systems. And I enjoy listening to taiko concerts and doing hanami. I'll follow my heart forever. My foreign heart sits in Japan. If you want to read a nice story about following your heart, I advise THE ALCHEMIST by Paulo Coelho.

Be happy... Thanks...

TIAライブラリー案内

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●An Interactive Taiwan Travel Guide 台湾観光ガイド

今回、紹介するものはCD-ROMの中に収録された観光ガイドで、パソコンをお持ちの方でしたらどなたでも簡単な操作で見ることのできるものです。

このCD-ROMの中には、日本語、英語、中国語 の3か国語の紹介プログラム

が収録されていて、簡単なインストールでさまざまな情報を手に入れることができます。台湾の見どころを始め、気候、入国手続き等各種情報、宿泊先ホテル検索もできます。また、音声による中国語旅行会話も収録しています。その他、ビジネスマンに必要なビジネスダイレクトリーも収録されています。

(ウィンドウズ版/台湾政府観光局製作)

●PANGERAN KATAK

インドネシアの昔話「カエルの王子」

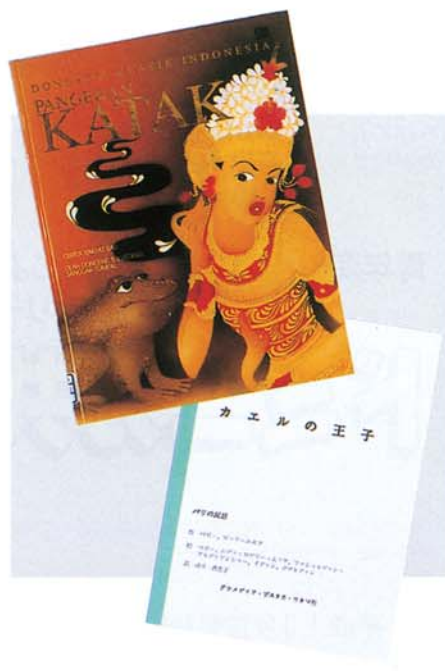
この本は、インドネシアの昔話を絵本の形で原文に翻訳をつけたもので子供でも楽しめる一冊となっています。

昔、パリの王国が長い干ばつにみまわれた時、人間の悪や苦悩に住み着く悪の化身ランダがこの惨状をみて喜びんでいました。王子であるプトゥ・オカは勇気を持ってなかった民衆に代わり、彼と戦いましたがこのランダに破れてしまい、勇ましい王子から醜いカエルにされてしまいました。

当時、この王国にはわがままなプトゥ・アユ姫がいました。そのわがままな姫の性格をこの醜いカエルとなった王子が直し、姫が素直になったとき王子にかけられてい

た呪いが解けて元の王子の姿に戻るという物語です。

(グラメディア・ブスタカ・ウタマ社・ベビー、マッド・ユスフ作・油井理恵子訳・(有)ブクブクテリー出版)



ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

平成13年度 県費留学生

丸山 フラビオ 実さん (23歳)

本年度の県費留学生は、ブラジル・サンパウロ市出身の丸山フラビオ実さんで、しばらくぶりの男子留学生。4月6日に来県し、現在宇都宮大学工学部で、主に省エネルギーとエネルギー保存に関する研究をしている。



丸山さんは、ブラジルのサンパウロ州立大学で、電気工学を専攻してきた。今回の留学目的は、彼がブラジルで行ってきた省

エネルギーの研究をさらに進め、高電圧時にいかにエネルギーを使わないですむかというエネルギー技術についてのプログラムを作ることだと話してくれた。

丸山さんは大学時代にコンピュータ言語の1つであるC言語を勉強した。宇都宮大学でもC言語を使っていることから、担当教授ともこの言語を使って研究するという話を話したという。

海外は初めてという丸山さんは、成田空港を降りた瞬間、異国にきたという印象を受けたという。まず、ブラジルと違うなあと感じたのは畑だそうで、日本のイメージはビルばかりで畑などないような想像でしたが、全くその想像とは違って畑が広がっているのに一番びっくりしたそうです。

また、栃木県の印象については、県民は親切な人が多く、宇都宮はきれいな町だと感じたと言います。また、栃木に来てすぐに、知事表敬をしたが、栃木県知事はたいへん温かくて、親切な人だという印象を覚えたという。

また、ブラジルと日本の違うところについては、交通機関特に、バスに車掌がいないうというのにはびっくりしたという。人口の多いブラジルでは雇用の問題があって、必ずバスには車掌が乗っているのだそうだ。

丸山さんは、小さい頃、フットサルと空

手を3年間ぐらい習っていたそうで、大学研究室で友達を紹介されたとき、サッカーを覚えてくれといわれ、びっくりしたという。日本人は、ブラジル人はみんなサッカーができると思っているようなイメージがあるように感じたという。日本では、空手が学べると思って来たので、ぜひ、空手のサークルに入って、空手を上達させたいそうだ。

せっかく、日本に来たので、日本語もしっかり勉強していきたい。丸山さんの家庭ではポルトガル語で話すことが多く、日本語を話すといってもポルトガル語のなかに日本語の単語を混ぜたような会話だけだったので、きちんとした日本語を学んで帰りたいと話します。そのために多くの日本の友人を作り、いろいろ交流を深めていきたいという。まだ日本にきて日が浅いが丸山さんは研究室の仲間とも仲良くなって、一緒に食事をしたりしたそうだ。

日本では、日本文化を学び、また、逆に、ブラジルの事をいろいろ日本の人達にも知ってもらいたい。彼は旅行が好きなので、日本のあちこちを旅行したいと話します。特に、日本では一番に北海道の雪祭りをみたいと話します。

今、丸山さんは、日本でプログラムを完成させ、母国で活用できるようにしたいと意欲的に研究に取り組んでいる。

栃木県国際交流員 (中国語担当)

李 虹さん (30歳)



昨年度まで栃木県の国際交流課で国際交流員として活躍していた施華忠さんに代わって、中国浙江省人民政府外事弁公室から李虹さんが本県に着任した。昨年

の施さん同様1年間、県国際交流課に勤務し、栃木県と浙江省との友好のために尽力されることになっている。

李虹さんは、訪日代表団の通訳として、日本に3回きているが、栃木県に来るのは、

はじめてだそうです。

李虹さんは、中国・浙江省嘉興市出身で、杭州大学（現在の浙江大学）の日本語学科を卒業後、国の指示により、浙江省服務公司等で日本との交流窓口として、また、経済交流団体の通訳として勤務してきた。

日本に長期滞在することも初体験の李さんは、今まで学校で勉強したこととは、違ったことを勉強したいそうだ。

また、栃木県の印象について、静かで、住みやすいところと感想を述べてくれた。

元々、子供が好きだったので、本当は小さいころは幼稚園の先生になりたかったという。人付き合いも好きなので、今後は、県民とも交流を深めたり、学校でも生徒との交流を深めていきたいそうだ。また、大学を卒業してから、貿易会社に勤めたいと思っていた李さんは、非常に、国際経済、貿易に興味を持っているので、日本に在籍する間に、この分野の知識も深めていきたいと考えているそうだ。

趣味は、水泳と読書。特に本を読むのが好きで、中でも小説はよく読んでいて、日

本でもいろいろな本を読みたいという。

また、料理も得意とのこと、ちょっとした料理教室や講座を開いて、中国料理を紹介していきたいという。

もちろん、日本に来たので日本国内の旅行をして見聞も深めて行きたいとのこと。特に、北海道や沖縄など、日本に来てなかなか行く機会のない場所へは是非訪れてみたいと話します。李さんは、県内の観光地日光へもまだ行ったことがないので、機会を見つけてぜひ世界的にも有名な日光へも行きたいと話していた。

また、ボランティアにも非常に興味があり、日本でも何かしらのボランティア活動も行いたいそうだ。

李さんは、来県早々、中国から代表団が訪日したりして、中国とは違ってのんびり過ごす時間が余りなく、日本的な慌ただしい生活にもいやおう無しに慣れさせられているが、一つの悩みは、昼食を食べたあとに昼寝をするという習慣が未だにぬけないことだそうです。

ドミニカ共和国 DOMINICAN REPUBLIC

カリブ海の大アンチル諸島のほぼ中央に位置するヒスパニオラ島（ハイチ島）の東側の約三分の二を占める。面積は日本の約八分の一で、山地の多い国。中央に西インド諸島でもっとも高いズアルテ山（3,175m）がある。

国名のドミニカは、スペイン人が植民した日がカトリック暦のサントドミンゴと呼ばれる安息日であったことに由来。

コーヒー、砂糖が主要輸出品である。

伊賀雄一さん（31歳・宇都宮市在住）

案内人



大学在学中のとき、JICAのことを知り、日本には外国にあるような徴兵等の義務的なものがないので、なにか自分を磨けるような経験をしたと思って応募した。

途上国と実際に自分が住んでいる日本との格差を肌で実感してみたいと1993年12月から1995年12月までドミニカ共和国で養殖の協力隊員として活動した。

行った先は非営利組織だった

最初、ドミニカ共和国に派遣される前に、語学研修という形で、グアテマラ共和国のほうで約1ヵ月間語学研修をしていました。

その後、ドミニカ共和国に協力隊員として派遣されたわけですが、派遣されたところはドミニカ共和国のバルベルデマオという首都サントドミンゴから約300kmのところでした。派遣された先は非営利組織のところで「プエブロ・デ・ディオス」というところでした。シスターが農場主の、キリスト教系の団体でシスターが2人できりもりしているようなところでした。20数名ほどの孤児をひきとってホームを作っていました。

私も当然、こちらのホームが住まいとなっていました。この施設に住み込んでいる人用の道具置場と一緒にあったような部屋を一室と与えられました。

ここでの仕事は農場にある池の管理全般で、水の管理、配管のメンテナンス、池の魚の餌づけなどが主でしたが農場は女性ばかりでしたので、雑草の伐採や柵の修理などは、やはり、男の力も必要とされるので私がまかされていました。

▶村落開発普及員からの要請でのバスケットコート作り



農場は自給自足？

私のいた農場は自給自足できるほどの規模ではありませんが、家庭菜園的なものを栽培していました。野菜や果物を作っていたんですが、マンゴー、レモン、オレンジ、グアバ、パパイヤ、トマト、セロリー、タマネギ、ニンジンそれに豆の木もあったので、豆もできました。取り合えず、これらを栽培し、収穫し、食料の一部としていました。

▶ドミニカの稲作風景



◀農場の池での餌付け

基本的に野菜、果物は、農場でつくりました。

しかし、私にとってドミニカに派遣されて一番困ったのは、食事です。ドミニカの家庭の一般的な食事がこういったものかどうか分かりませんが、この派遣先での食事を紹介しますと、基本的に主食として朝夕と

もゆでた食用バナナを食べます。このバナナは味的には丁度ゆでた触感がいもに似ています。消化が早いということで向こうでは、主食とされていますが、消化が早いので満腹感が得られず、すぐにお腹がすいてしまう欠点がありました。

ほかにはシチューのように調理した豆料理もできました。豆は通常二種類で、緑色の豆と小豆色の豆があります。どちらも同じように食べていました。

▶町のマーケットの様子



昼食には通常は、ご飯を食べます。ドミニカでは稲作もしているので米がとれるのです。

そのほか、肉があるときには、肉料理も食べていました。肉料理とはいっても煮込んでシチューのようにしたものでした。また、卵がある時には、朝夕に目玉焼きがでたりもしました。

▶市街地での屋台（動力はバイク）



ドミニカ共和国



▶ハイチからドミニカ共和国に到着した現地のトラック



現地で農業技師らに養殖講座

現地での仕事は、組織や仕事内容がしっかりしてないせいもあり、実際の派遣内容にいましたが、林業系の隊員からの提案があって、サルセド



◀現地の伐採風景

県の教会（援助教会で協力隊員が何名かいた）で、現地の農業技師らのために養殖の講座を開きました。この講座は実際に池を試作することも兼ねた講座で、11～12名ぐらい受講生が出席しました。

ドミニカは乾燥地域

ドミニカ共和国は、位置的には熱帯から亜熱帯の気候区分に属する地域です。ただ、非常に乾燥している乾燥地域ともいえます。

夏は気温が高く、時々、夏に熱風が吹きフェーン現象も起きます。気温は、37℃から38℃ぐらいになります。また、4月、5月、6月はスコールがあり、雨がよく降ります。他の中米諸国では、よく被害を受けているハリケーンは、ドミニカ本土にくることは来るのですが、他の国に比べるとかなり少ないです。



◀ドミニカの子供たち

文化はヨーロッパ的？

ドミニカ共和国の首都はサントドミンゴという都市で、新世界では非常に歴史のある都市です。新大陸を発見したコロンブスが上陸してからもうすでに500年以上も経過しています。その領事館もあります。

首都サントドミンゴは他の大都市と同様貧富の差はかなりはげしいですが、治安はよいほうです。市民の足は、バスとタクシーで、タクシーも日本と違って乗合タクシーになっています。



▶首都サントドミンゴの市街地の風景

ドミニカは、先住民の文化はほとんどなくて、ヨーロッパからの移民が多かったため、やはりキリスト教の色彩の強い文化があり、先住民の文化は遺跡とか壁画とかが一部に残っているだけです。

ドミニカの先住民は、中米のインディオとカリブ海周辺の島々に住んでいた先住民です。ドミニカの先住民はスペイン人が上陸後、奴隷制度でほとんどが、絶滅してしまったといえます。

ドミニカの民族構成は、ヨーロッパ系はとても少なく、全体の2割程度で、大部分は、メスチーソといわれる混血民族が占めています。

ヨーロッパのキリスト教の文化、特にカトリックの文化の色が濃いので、中心部に教会があり、石作りの町並みという街づくりの定番で作られています。

クリスマスや謝肉祭といわれるカーニバル（3月か4月頃行われる）では、赤ワイン、鶏肉、炭火で豚を丸焼きにしたもの、甘いお菓子等普段とちがうちょっと豪華な食事をして楽しめます。これもまさに、キリスト教文化が市民の間に浸透していることを物語っているといえます。



▲派遣先の施設のシスターと子供たち

◀サントドミンゴの旧市街区

データ

ドミニカ共和国



白十字が青(左上・右下)と赤(右上・左下)を四隅に切る。中央の紋章は聖書と十字架で、リボンには「神、統一、自由」と国標を書く。青は神、赤は祖国、白は自由の象徴。1844年制定。

① 面積	48,734km ²
② 人口	933万人 (98年)
③ 首都	サントドミンゴ
④ 主要言語	スペイン語 (公用語)
⑤ 民族構成	混血73% 白人16% 黒人11%
⑥ 宗教	カトリック95%
⑦ 通貨	ペソ
⑧ 元首	大統領
⑨ その他	協力隊員の派遣人数322名 栃木県からは1名

国際交流団体紹介

日本語友の会

「もしもし…よしだせんせいですか？わたしにほんごべんきょうしたいです。」

時々、こんな調子で外国人から電話がかかってきます。ときには、まったく日本語が話せず、英語だけで申し込む方もいらっしゃいます。皆さんに共通するのは、何とか少しでも日本語が話せるようになりたいという熱意です。慣れない外国で仕事や家事に忙しい思いをしながら、なんとか時間をやりくりして、日本語を勉強したいという気持ちは痛いほど伝わってきますし、私たちもできる限り期待に応えたいとがんばっています。

日本語ボランティアグループ「日本語友



▲日本語友の会授業風景

の会」は、1999年にスタートしたまだまだ経験の浅いグループです。現在はとちぎ国際交流センターをお借りして火曜日と木曜日の午前にクラスを持っています。受講生はアジア人、南米人、欧米人などさまざまに働く人もいれば主婦もいます。時間を決めているわけではありませんので、習いたい人はいつからでも受け入れています。

基本的には「日本語で日本語を教える」という直接法で、一人の講師が1回（2時間）を教えるというクラスレッスン方式をとっているため、全くの初心者が教えるの

はちょっと無理なのですが、いつもいつも真剣勝負で、うまく行ったときは何ともいえないよろこびを感じます。時には思いがけない質問をされて、いつも使っている日本語の難しさを実感したり、それぞれのお国柄に触れて目からウロコが落ちたりすることもあります。受講生が少しずつでも確実に上達していくのを見るのは本当に楽しいものです。あまり教え方に自信が

なくて落ち込んでいるときでも、受講生の「ありがとう」という声に励まされて、「こんどはきっと上手にやるぞ!」というファイトがわくことも多いのです。

さて、「日本語友の会」は、ただ今、ボランティア先生募集中です。外国語ができる必要はありません。日本語がきちんと話せて、簡単な教え方講習が受けられる方、そして熱意のある方、いっしょにすばらしい日本語の世界にはまってみませんか？TEL 028-635-9595 吉田までご連絡ください。お待ちしております。

レポート

とちぎ国際交流セミナー ノルウェーと日本

～白夜とフィヨルドの国に赴任して～

4月6日（金）とちぎ国際交流センターで「ノルウェーと日本」と題して駐ノルウェー王国特命全権大使で今市市出身の河合正男氏の講演会が行われた。

講演会のなかでは、3月下旬にノルウェー国王が訪日された際のエピソードとノルウェーという国の紹介をノルウェーの生んだ音楽家グリーグの曲をBGMに語ってくださった。

日本に輸入されている鯖（さば）の90%以上がノルウェー産であるという事実やノルウェー人は大変親日的な人が多いということ、また、世界第二位の石油輸出国であるということなどを話された。

また、ノルウェーはバイキングでも知られているが、現在、多くの日本製のノルウェー船籍の船が世界の海で活躍しているとか、日本と同様にノルウェーも海運業の盛んな国ということを話され、遠い北欧の国



▲講演される河合正男駐ノルウェー大使

が近くに感じた。

また、後半、大使への質問コーナーの時間も設けられ、大使へ男女共同参画等の北欧の進んでいる部分での質問も講演会を開きにきた来場者からでいた。

この講演会は終始なごやかなムードで、幕を閉じた。

栃木県高校生がフランスから帰国

栃木県の高中生5名が、去る3月6日～19日の二週間、パリやヴォークリューズ県を訪れた。

パリ市内では、コンコルド広場やエッフェル塔、オルセー美術館等を見学し、また、パリ郊外の世界的に有名なヴェルサイユ宮殿を訪れた。

栃木県と友好交流を行っているヴォーリ

ューズ県では、ヴォークリューズ県議会を表敬訪問し、議長のジャック・ベラル氏から歓迎の挨拶を受けた。また、高校生はホームステイをしながら、同県オランジュ市のアルク高校で、ホストシスターらとともにさまざまな体験学習を行った。

その他、ヴォークリューズ県内外を見学して、日本ではできない貴重な体験をし、多くのフランスの友人も作り、思い出を一杯抱えて帰国した。

今回フランスへ派遣されたのは、石井玲菜さん（白鷗大学足利高2年）、小川基世さん（県立宇都宮女高2年）、古口裕美さん（作新学院高等部2年）、堀越義正さん（県立栃木高2年）、前田亜希子さん（県立黒磯南高2年）で、団長として影山麻子さん（栃木県国際交流課主任）が引率した。



▲アルク高校の映画の授業で友人たちと

情報発信 地域の国際交流案内

★ワーキング・ホリデー・オリエンテーション説明会（栃木）

▶実施日時＝6月9日（土）14:00～15:30 ▶実施場所＝とちぎ国際交流センター多目的ホール（宇都宮市本町9-14 TEL.028-621-0777）▶開催内容＝ワーキングホリデー制度の説明、渡航に関するアドバイス、体験帰国者による情報提供、質疑応答等▶定員＝80名▶参加費＝無料▶申込方法＝事前に電話またはE-mailで受け付けます。定員になり次第締め切ります。栃木タイムス TEL.028-622-1066 E-mail:kya334@yomogi.or.jp

※E-mailでお申込みの方は、名前、電話番号、年齢、渡航希望国名、渡航希望時期をお知らせください。▶資料請求・問い合わせ先＝社団法人日本ワーキング・ホリデー協会（JAWHM）TEL.03-3389-0181 JAWHM ホームページhttp://www.jawhm.or.jp

★2001年度国際連合公用語英語検定試験

▶試験日程＝第1次試験日7月1日（日）第2次試験日8月12日（日）（東京・大阪のみ）8月19日（日）（本会場の全地域）▶書店申込受付＝4月2日（月）～6月3日（日）▶試験地＝札幌・青森・秋田・仙台・郡山・水戸・宇都宮・前橋・大宮・東京・練馬・国分寺・横浜・相模原・甲府・静岡・名古屋・新潟・長野・松本・津・金沢・京都・奈良・大阪・神戸・松江・岡山・広島・高松・福岡・長崎・熊本・鹿児島・那覇の35都市の予定。▶検定料＝特A級＝7,300円/A級＝5,100円/B級＝4,000円/C級＝2,800円/D級＝1,600円/E級＝1,300円▶受験申込方法＝取扱書店の

窓口で、備え付けの受験申込書と受付伝票に記入し、検定料を支払い、次に受験申込書に取扱書店印をもらい、書店発行の領収書「正」「副」のうち「副」と一緒に専用封筒にいれ、80円切手を貼ってポストに投函してください。（特A級、A級、B級、C級は受験申込書の受験票欄に写真添付が必要です。）ほかに、インターネット申込、直接郵送申込でも受け付けています。▶受験申込みについての問い合わせ先＝国連英検試験センター〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-1-16 TEL.03-3363-8961▶試験実施についての問い合わせ先＝財団法人日本国際連合協会〒100-8699東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル427号 TEL.03-3270-4731

★NICE春～秋国際ワークキャンプ参加者募集

▶内容＝世界の若者が2～3週間一緒に暮らし、地域住民と環境や福祉などボランティアに取り組む。今年は国内では42か所、世界全体で約90か国・約2300か所で開催される。国連ユネスコ・CCIVSも支援し、80年の歴史を誇る国際交流・国際ボランティアプログラムです。公民館・学校・青少年センター等・民家に宿泊し、各国参加者が交代で自炊するので各国自慢の料理も楽しめます。自由時間には、ホームステイ・学校訪問・討論会・交流会・遠足などが組まれることもあります。▶期間・場所例＝①秋田県八森町：9/4～9/17農地を荒らす猿の追い上げと森林の手入れ②長野県飯田市：8/4～8/18ログハウス建設と火の祭りへ参加③長崎県国見町：8/1～8/14小中学生の福祉教育と祭りの盛り上げ④イギリス：6/18～10/15環境保護やボランティア国際年の企画運営⑤フランス：8/4～8/25アルプス地方の古城の壁や塔の修復作業⑥トルコ：6/1～6/15教師志望の職業訓練校で各国語や遊びを教える⑦メキシコ：9/8～9/28海亀の卵パトロールと子ガメの世話と放流⑧モンゴ

ル：8/15～8/29ゲルで生活し養護施設の子供と農作業▶参加資格＝18歳以上（高校生応相談）英語カタコト以上。ボランティアに意欲と行動力を持ち、開催地の文化やルールを尊重し、簡素な食事・宿泊でも大丈夫な方。特別な語学力や技能や体力を有する必要はありません。▶参加費用＝参加費2～4万円+（国によって100～200\$）。渡航費は自己負担。期間中の宿泊場所・食事は受入側が提供。▶資料請求＝1,000円分の切手を事務局へ郵送してください。▶締切＝随時（先着順）▶問い合わせ＝NICE（日本国際ワークキャンプセンター）〒160-0022新宿区新宿2-4-2-701 TEL.03-3358-7140 FAX.03-3358-7149 E-mail:nice-2@po.jah.ne.jp ホームページhttp://www.jah.ne.jp/~nice-do/

★ベトナム国際ワークキャンプ

▶日時＝7月21日（土）～8月1日（水）▶場所＝ベトナム・ダラット▶内容＝小学校増築ワーク・現地住民との交流▶費用＝200,000円▶締切＝6月20日▶問い合わせ先＝▶アジア協会アジア友の会（JAFS）栖間早苗〒550-0002大阪市西区江戸堀1-2-16 大一ビル4F TEL.06-6444-0587/FAX.06-6444-0581 E-mail:suma@jafs.or.jp

★アジア国際夏期学校

▶日時＝7月28日（土）～8月11日（土）▶場所＝インド・カルナータカ州・ビジャプール地区▶内容＝日印友好学園コスモニタン・ハイスクール体験入学・交流、植林活動、文化交流会▶費用＝230,000円▶締切＝6月27日▶問い合わせ先＝▶アジア協会アジア友の会（JAFS）栖間早苗〒550-0002大阪市西区江戸堀1-2-16 大一ビル4F TEL.06-6444-0587/FAX.06-6444-0581 E-mail:suma@jafs.or.jp



宇都宮⇄羽田空港

（直通高速バス 1日5往復）

宇都宮から羽田空港へ直通バス運行開始

●柳田に専用駐車場（150台）完備 1日200円

●運賃 大人片道 3,500円
小人半額・税込

●所要時分 150～190分

●お問合せ・ご予約は羽田空港行予約センター ☎(028)639-6700 関東バス

羽田空港行					
柳田(専用)発	3:05	4:05	5:15	8:35	16:05
JR宇都宮駅発	3:20	4:20	5:30	9:00	16:30
東武宇都宮駅西口発	3:23	4:23	5:33	9:05	16:35
羽田空港着	5:40	6:40	8:00	11:40	19:10

宇都宮行					
羽田空港発	10:00	14:35	19:10	21:10	22:40

第22回宇都宮市民芸術祭 第71回定期演奏会

栃木県交響楽団

2001年6月10日（日）午後2時開演（1時30分開場）宇都宮市文化会館大ホール



＜指揮＞
田久保 裕一

＜演奏曲目＞

- ・モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
- ・ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番
- ・ワーグナー 歌劇「トリスタンとイゾルデ」から「前奏曲と愛の死」
- ・R・シュトラウス 交響詩「ドン・ファン」

＜入場料＞ 一般 前売1,200円 当日1,500円 小中高 前売600円 当日800円

＜プレイガイド＞ 宇都宮文化会館／宇都宮楽器店 チケットぴあ／東武友の会 栃木県総合文化センター

＜主催＞ 宇都宮市民芸術祭実行委員会 栃木県交響楽団 事務局／栃木県立文化センター内 TEL.028-643-5288

＜協賛＞ 足利銀行

＜後援＞ 栃木県教育委員会／下野新聞社 栃木放送／NHK宇都宮放送局／エフエム栃木 とちぎテレビ



＜ピアノ＞
仲道 祐子

知って得する なんでもQ&A

Q. ロングステイについて知りたいのですが。

A. 移住や永住でなく、日本への帰国を前提とする「海外滞在」で、数週間から数か月程度滞在して余暇を楽しむのが「ロングステイ」です。事前に治安や生活費などの情報を集めるのが不可欠です。このロングステイについての情報提供を行っているのが(財)ロングステイ財団で、セミナーやツアー開催のほか、「ロングステイ宿泊ガイド」「ロングステイハンドブック」などの出版物も発行しています。ただし「どの国がいい?」というような漠然とした問い合わせには答えられないので注意してください。

(財)ロングステイ財団/TEL.03-5401-1921

★平成13年度「栃木県青年の船」団員募集

▶派遣先=中華人民共和国(北京、杭州、上海)、沖縄県▶派遣期間=平成13年10月19日(金)～10月28日(日)(10日間)▶募集者数=250名▶参加費用=125,000円▶応募資格=平成13年4月1日現在、満18歳以上34歳以下の県内居住者(青年団員)平成13年4月1日現在、満35歳以上65歳以下

の県内居住者で地域・職場等で青少年育成活動を行っている方、または、これらの活動に関心のある方。(育成者団員)▶応募方法=居住する市町村の青少年行政担当課へ所定の参加申込書を提出してください。

▶募集期間=平成13年4月2日(月)～6月20日(水)▶問い合わせ先=栃木県女性青少年海外研修実施委員会事務局(栃木県生活環境部女性青少年課内)〒320-8501宇都宮市塙田1-1-20(合同庁舎4F)TEL.028-623-3075 FAX.028-623-3150 E-mail:josei@pref.tochigi.jp

TIA日誌

2001年3月1日～2001年4月30日

- 3/2 日仏青少年短期研修事業第3回研修会(センター)
- 3/6 日仏青少年短期研修事業高校生フランス派遣(～19日)
- 3/8 とちぎ国際セミナー(センター)
海外技術研修員・自治体職員研修員修了式(センター)
海外技術研修員・自治体職員研修員送別会(ホテル丸治)
- 3/19 日仏青少年短期研修事業フランス派遣高校生帰国
- 3/21 TIA評議員会(センター)
海外技術研修員帰国

- 3/23 TIA理事会(センター)
- 3/27 日仏青少年短期研修事業第4回研修会(センター)
日仏青少年短期研修事業フランス派遣高校生帰国挨拶(副知事室)
- 3/28 自治体職員協力交流研修員帰国
- 4/3 TIA辞令交付式(理事長室)
- 4/6 とちぎ国際セミナー(センター)
県費留学生入国
- 4/10 県費留学生知事、副知事、部長表敬
- 4/21 沈祖倫浙江省人民対外友好協会会長訪県(～23日)

TIA賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ(海外→日本、日本→海外)をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいております。地域の国際化のために役立っています。

<新規賛助会員のの方々>

個人:張恵文様、黒井恭子様、ミッシェル・カーニングハム様、チャールズ・ルアンティナ様
～ご入会、ありがとうございます～

編集後記

○前任の本間一匡常務理事の後任として、清水準一がTIAの新しい常務理事となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

○3月下旬に海外技術研修員が帰国したが、今年はタイから来た研修員が荷物を母国に送ると一緒にパスポートまで送ってしまい、帰国当日までどうするか本当に困ったが、荷物が川崎にあることを確認!なんとか無事に帰国できました。めでたしめでたし。一時はどうなるかと・・・

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けております。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30～17:15
休館日/日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日